

一貫教育

新篠津の子どもたちの煌めく15の春を目指して

～ 新篠津小中学校 一貫教育推進員より ～

今年度も「新しのつ小中一貫教育」スタート！

令和3年度から始まった新篠津村での小中一貫教育も4年目を迎えました。今年度も検証・改善を重ねながら、小中学校の児童・生徒にとって、更に有意義な取り組みとなるよう推進していきます。

さて、一貫教育には、次のようなメリットがあるとされています。

1 上級学校への児童生徒の円滑な移行のため

小中学校の交流により小学校を卒業した児童が中学校生活に適応しやすくなる。

2 ゆとりと連続性のあるカリキュラムのため

9年間の教育課程のつながりにより、子どもの得意・苦手な分野を考えた指導ができる。

3 長期にわたっての生徒理解と指導のため

義務教育9年間で子どもの特性や成長を見届けていくことができる。

4 教職員の意識改革を学校運営の改善のため

小中学校の交流により互いの学校改善に活かす。

5 学校・家庭・地域社会の連携強化のため

地域の教育的財産を9年間で有効に活用し、交流を図る。

上記の利点を活かしながら、本年度も小中学校で連携して小中一貫教育に取り組んでいきますので、よろしくお願い致します。

今年度も一貫教育推進員をさせていただきます！

今年度も中学校が森正彦、小学校は中川幹彦が一貫教育推進員を担当させていただきます



中学校担当 森 正彦



小学校担当 中川 幹彦

森は数学、中川は国語を中心に学習支援にも入ります。

子どもたちの義務教育9年間は、より充実したものとなるように微力ながら、努力していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

(文責) 中川 幹彦

第1回小中一貫全体研修会終了!

今年度第1回目の小中一貫教育全体研修会が5月22日(水)に中学校体育館で行われました。

小中学校の教員が集まり、新篠津のめざす子ども像「ふるさとを愛し 夢や目標をいだいて 未来を切り拓こうとする たくましい子ども」を実現するために、今年度の小中一貫教育の経営方針について確認されました。

その後、教務・研修部会、指導・交流部会、事務部会、連携部会の4つに分かれ、今年度の小中学校での一貫教育の計画・実施について話し合いがもたれました。



漢字、算数・数学、英語検定、挑戦してみよう!

毎年、小中一貫教育の取り組みとして「漢字」、「算数・数学」、「英語」の3種類の検定をご案内しています。子どもたちの学力向上とキャリアの形成(高校入試の内申書にも記載されるとか…)を目指しています。小学校で受検し始めた児童が、中学校でも継続してより高い級へ挑戦することを期待しています。

それぞれの検定日は、下記の通りとなっています。ご家庭でも、挑戦するよう背中を押しただけであれば幸いです。よろしくお願い致します。

それぞれの検定は、近づきましたら別途、ご案内申し上げます。

○日本漢字能力検定	① 6月29日(土)	② 10月12日(土)
	③ 1月25日(土)	
○実用算数・数学技能検定	① 7月21日(日)	② 11月16日(土)
○実用英語技能検定	① 6月 2日(日): 1次	7月14日(日): 2次
	② 9月28日(土): 1次	11月10日(日): 2次
	③ 1月18日(土): 1次	3月 2日(日): 2次

さっそく英語検定に挑戦!

6月2日(日)、新篠津中学校において、さっそく第1回目の英語検定が行われました。準2級から5級までの高いレベルの検定に中学生4人が挑戦しました。皆、真剣に英語の問題に取り組んでいました。

6月29日(土)には、漢字検定が行われます。現在、小学生4名、中学生9名の計13名が挑戦する予定です。

受検者の皆さんの健闘を期待しています。



(文責) 中川 幹彦